

自己の生き方についての考えを深め、
よりよく生きる子供を育てる道徳教育
—主体的に考え、伝え合い、響き合う授業づくり—

徳島市国府小学校

徳島県徳島市
国府町中6 1 番地の1
(088) 642 - 1013

ねらい

子供一人一人の道徳性を養うとともに、多様な意見を受け容れながらも、自分の思いや考えを明確にもち、自らの人生を切り拓いていく力を備えた子供を育成する

取組の概要

授業づくりの軸

授業づくりの軸として、本校で取り組んだ内容を右の図1に示す。

低学年は「動作化・役割演技」を中心に、中学年はICTの利活用における「選択型」、高学年においては「記述型」を取り入れた授業づくりを意識して行った。

また、伝え合いにおける教師の介入の度合いや、子供自身が学びの自己調整を意識した授業づくりを行えるように留意した。

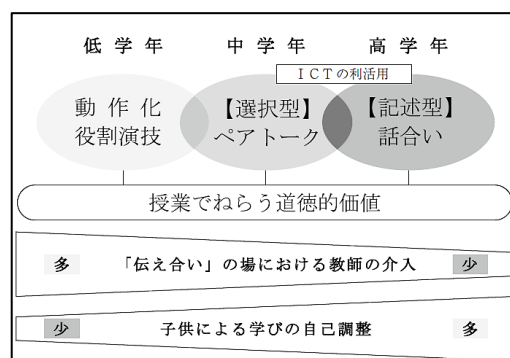


図1 授業づくりの軸

授業における指導の工夫

授業を導入・展開・終末の3場面に分け、それぞれの場面で工夫を行った。

【導入】道徳的価値に根差した問題を自分事にする工夫
Formsアンケート・実生活の想起や劇化

【展開】伝え合いの場における工夫（図2）
動作化、役割演技、話し合い、発問、板書

【終末】振り返りの工夫
ワークシート、タブレット、道徳コーナー



図2 伝え合いにおける工夫

授業における評価の工夫

終末で書いたワークシート（図3）に、授業での気づきや、他者の意見を聞いた感想等を記述し、そのワークシートをポートフォリオとして蓄積している。

ポートフォリオにすることで子供は学習したことや教師からのコメントなどを読み、自らの学びを振り返ることができている。

教師側としても、大きくくりなまとまりのある評価となり、子供の成長を積極的に認め励ます評価に繋がってきている。

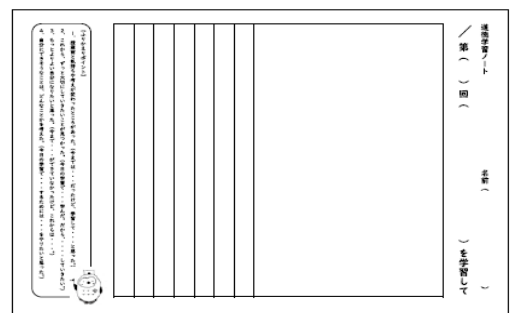


図3 ワークシートの工夫